

「開成町富士山火山避難計画」の概要

1 目次

| | | |
|------------------|-----------------|----------------------------|
| 第1編 総論 | | |
| 第2編 計画の基礎的事項 | 第1章 火山現象と影響対象地域 | |
| | 第2章 避難の基本的な考え方 | |
| | 第3章 噴火シナリオと避難対応 | |
| 第3編 富士山噴火に伴う避難計画 | 第1章 噴火に伴う全般時程 | |
| | 第2章 事前対策 | |
| | 第3章 広域避難等計画 | 第1節 広域避難の方法 (いつ、どこへ、どのように) |
| | | 第2節 役場機能の町外移転 |
| | 第4章 避難時の降灰の対応 | |
| | 第5章 緊急時の対応 | |
| 第6章 広域避難後の対応 | | |
| 第4編 平時からの備え | | |

2 基本方針

「いのちを守る」避難を最優先し、「くらしを守る」避難を最大限配慮する。

3 計画の前提となる火山噴火の様式

(1) 溶岩流 (2) 降灰 (3) 溶岩流+降灰の同時発生

4 計画の前提となる溶岩流流出シナリオ 「別紙3」



5 避難実施時期：最短の場合 「本文P27」

富士山東側で噴火し、溶岩が東の鮎沢川、酒匂川方向に流出した場合、溶岩流の先端位置に基づき「避難に関する情報」を発信する。

| | |
|----------|--------------------|
| 国道246号 | 避難準備 |
| 静岡県小山町役場 | 避難決定 |
| 山北町清水橋 | 避難指示 (最短 X+3日目) |

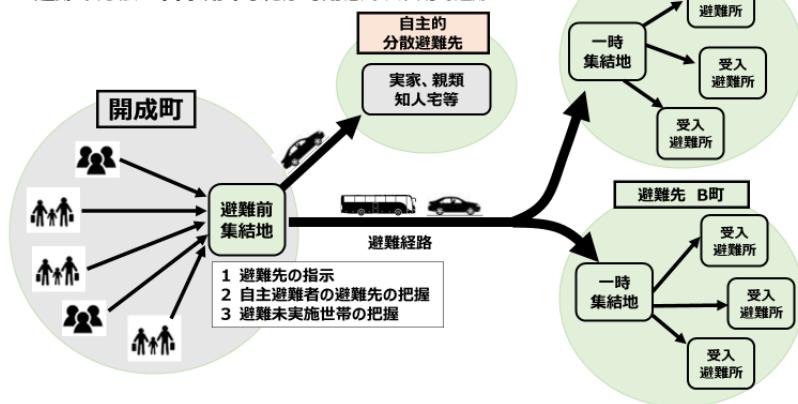
避難時期と避難自治会 (流出発生日時をXとする)

| 避難指示日 | 避難指示地区 |
|-------|------------|
| X+3日 | 岡野・金井島・上延沢 |
| X+4日 | 上島・河原町 |
| X+6日 | 下延沢・円中 |
| X+8日 | 榎本 |
| X+9日 | 中家村 |
| X+10日 | 宮台・牛島 |
| X+11日 | 下島・パレット |
| X+12日 | みなみ |

6 避難実施要領 「本文P31」

「どのように」避難するか？

避難の方法：自家用車または町用意のバス等で避難



- 1 避難先の指示
- 2 自主避難者の避難先の把握
- 3 避難未実施世帯の把握

7 避難先 「本文P30」

(1) 町の方針

- 県内市町村への避難を基本とし、噴火の様相に基づき避難調整を決定
- 県外への避難が必要な場合: 三県 (山梨、静岡、神奈川) 相互協力し三県内での避難を協議会が調整

(2) 避難先を決定しない理由

噴火の推移は「複雑かつ予想困難」であり、それぞれの推移に応じた避難先が必要であるため。

● 処置

「噴火様相に応じた避難調整先」を記述

8 噴火様相に応じた避難調整先 「別紙8」

| 降灰量 | 噴火規模 | 時間経過 | | |
|--|--|----------------------------|----------------------------|---|
| | | 溶岩流の影響なし 降灰発生 | 溶岩流の状況 鮎沢川・酒匂川沿いに溶岩流発生 | |
| | | 開成町降灰厚 ※ 2 cm | 開成町降灰厚 ※ 15 cm | 開成町降灰厚 ※ 20 cm 以上 |
| 小規模噴火 噴煙高度 7000m 噴出量 2000万m ³ | (降灰厚1~2cm) 広域避難なし | (可能性なし) | | |
| 中規模噴火 噴煙高度 7000m 噴出量 2億m ³ | 降灰厚※25cm基準 に広域避難指示 県外 広域避難 (協議会調整) | 広域避難 県東部地区 を避難先として調整 | 広域避難 県東部地区 を避難先として調整 | 県外 広域避難 (協議会調整) |
| 大規模噴火 噴煙高度 7000m 噴出量 13億m ³ | 予想避難先 ● 静岡県内(伊豆) ● 韮崎市 (協定予定先) 先)を含む甲府盆地※ | 韮崎市 (協定予定先) | 韮崎市 (協定予定先) | 予想避難先 ● 静岡県内(伊豆) ● 韮崎市 (協定予定先) 先)を含む甲府盆地 |

※:道路以外の降灰厚
道路は除灰できており
速度低下発生するも通行可

※中央道に溶岩流が流出した場合、避難経路を中部縦貫道を使用

9 降灰対応

- (1) 大量降灰による広域避難について記述: 「本文 P 45」
- (2) 広域避難を行わない場合の降灰の対処要領について記述: 「別紙 1 2」